



2022年9月15日

各位

会社名 株式会社アースインフィニティ  
代表者名 代表取締役社長 濱田 幸一  
(コード番号: 7692 東証スタンダード)  
問合せ先 管理部長 已波 諒哉  
(TEL 06-4967-2222)

### 上場維持基準の適合に向けた計画

当社は、2022年4月の株式会社東京証券取引所の市場区分の見直しに関して、スタンダード市場を選択しております。しかしながら、基準日時点で当該市場における上場維持基準を満たしていないことから、下記のとおり上場維持基準の適合に向けた計画を作成いたしましたのでお知らせいたします。

#### 1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の2022年7月時点における東証スタンダード市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなっており、流通株式時価総額、流通株式比率については、基準に適合していません。当社は、流通株式時価総額、流通株式比率に関して2023年7月31日までに、上場維持基準に適合するために各種取り組みを進めてまいります。

	株主数 (人)	流通株式数 (単位)	流通株式時価 総額 (百万円)	流通株式比率 (%)
当社の状況 (2022年7月31日時点)	942	6,865	670	22.4
上場維持基準	400	2,000	1,000	25.0
計画書に記載の項目			○	○

※適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社提出の「株券等の分布状況等」をもとに判定を行ったもので、流通株式時価総額は、流通株式数に、事業年度の末日以前3か月間の日々の終値の平均値を乗じて算出しております。

## 2. 上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針、課題及び取組内容

### (基本方針)

当社は、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に資するために、必要な資本政策を適時実施し強固な財務基盤の確立と株主利益の追求をはかり、投資対象として十分な流動性とガバナンス水準を備えた会社として存続していく方針です。そのため、スタンダード市場の上場維持基準へ適合することは経営の重要な課題であると認識しております。

### (課題及び取組内容)

#### (1) 「流通株式比率」について

基準日時点での状況は以下のとおりです。

- ・流通株式比率：22.4% 適合まであと2.6%

流通株式比率を増加させる取組としては、第1段階として筆頭株主かつ創業者である当社代表取締役濱田が保有する株式を最大10%まで市場の状況に配慮しつつ売出することにより、市場流通数を増加させ、基準への適合をはかってまいります。

この第1段階は、2023年7月期を目処としております。

また、この第1段階で適合できなかった場合には、第2段階として他の大株主や金融機関・事業法人等に対して保有目的等を考慮しつつ保有株式の全てもしくは一部の売却について協力を要請するとともに、筆頭株主である当社代表取締役濱田が保有する株式の追加売出しを検討してまいります。この第2段階は、2024年7月期を目処としております。

#### (2) 「流通株式時価総額」について

流通株式時価総額の構成要素は、「時価総額」及び「流通株式比率」であります。

このうち、「流通株式比率」については、(1)の取り組みにて最大32%まで増加させることにより基準の達成を目指してまいります。

「時価総額」につきましては、業績の向上ならびに企業価値の向上が基準への適合に向けた課題であり、これらを着実に進めることで基準の達成を目指してまいります。

当社は、2022年7月期において、世界的な燃料費の高騰の影響やウクライナ情勢を受け、日本卸電力取引所の価格が高騰したこと等により業績が低下しておりましたが、2023年7月期においては、2022年6月に導入した当社独自の燃料費等調整額(電力市場調達コストを電気代に反映する仕組み)により、電源の調達における日本卸電力取引所の価格高騰のリスクヘッジを図り収益の安定化を見込んでおります。また業績を拡大するため新規事業の蓄電池・太陽光パネル販売の拡大を積極的に行います。

具体的には、売上を継続的に獲得できる基盤作りとして、中小企業及び一般家庭を中心に電力及びガスの継続的獲得を行い、2023年7月までに電力の顧客件数を現在の29,496件から32,000件に増やすことを目指します。また新規事業である蓄電池・太陽光パネル

販売の積極的な拡大を行うことで、下表のとおり業績が回復する見込みであります。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2023年7月期(予想)	5,179	210	200	154
2022年7月期	4,583	△420	△466	△389

以上